

日本 ASEAN 友好協力 50 周年有識者会議第一回会合 議事要旨

1 日時：令和 4 年 5 月 12 日（木） 午後 2 時 20 分～3 時 35 分

2 場所：内閣総理大臣官邸 4 階大会議室

3 出席者

（委員）

相沢 伸広	九州大学 准教授
遠藤 環	埼玉大学大学院 教授
大庭 三枝	神奈川大学 教授【座長】
梶原 将	東京工業大学 生命理工学院長・教授
川島 真	東京大学大学院 教授
木場 紗綾	神戸市外国語大学 准教授
佐橋 亮	東京大学 准教授
清水 新一郎	日本・東京商工会議所 ASEAN・日本経済協議会(AJBC) 日本委員会委員
庄司 智孝	防衛研究所アジア・アフリカ研究室長
田中 恵次	関西経済連合会 国際委員会アジアビジネス専門委員長
田中 秀幸	日本経済団体連合会 アジア・大洋州地域委員会 ASEAN 経済連携強化部会長
平子 裕志	経済同友会 国際交流委員会アジア PT 委員長

（政府側）

木原 誠二	内閣官房副長官
加納 雄大	外務省南部アジア部長【事務局長】

関係省庁（オブザーバー参加）

4 議事概要（委員の主な発言要旨）

- ・ ASEAN は政治・経済・社会面で大きく変化し、国力や影響力が増す一方、深刻化する中進国の罅、格差等の課題に取り組んでいる。ASEAN に対し、対先進国外交でも、対途上国外交でもない外交政策が必要。国際秩序が流動化する中、価値観の共有が一層重要。多様な ASEAN 各国の実情を理解しながら民主主義を後押ししていくべき。国際交流基金や日本アセアンセンターといった既存の枠組みに加え、民間交流も活用した知的交流の拡充が必要。JICA 等の活用を通じたレジリエントな社会の実現に向けた支援も重要である。ASEAN の未来を担う次世代にも訴えるビジョンを打ち出すことが肝要である。

- ・ 経済協力の時代が終わり、政治の時代における大国間競争の中で、東南アジアは、デジタル化等の社会の変化といった社会的課題に直面。東南アジアの経済・社会の安定に日本がどう関与するのか、新しい国際協力を探求すべき。若い世代の中にも取り残された人々がおり、視点が分極化している。
- ・ アジアの急成長は格差等の問題を生じており、地域としての取組や、グローバルバリューチェーンの質的向上のための議論が必要。アジアと学び合うという視点が重要。アジアの若い世代の意見を聞く機会があれば良い。産業構造自体が変化しており、取り残された人々への手当は難しく新しい課題。
- ・ 科学技術面でも ASEAN が進んできている。経済安全保障上、最先端技術に関する情報の第三国への流出には注意を要するが、最先端技術、炭素中立や感染症等の課題の解決でも ASEAN と日本がしっかり連携することが重要。
- ・ ASEAN の現実の社会を主語にして考えるべき。ASEAN 各国が世界、中国、ウクライナ等をどう見ているかを見失ってはならない。中国の「デジタル戦争」やインフラ協力も、ASEAN が受け入れているという視点が重要。ASEAN を主語として考えるために、東南アジア諸国がどう考えているのかを日本社会が正しく認識する必要がある。日本がどう変われば魅力的になるのかも考える必要がある。
- ・ 社会科学分野では従来、東南アジアから日本に学びに来ることが多かったが、今や日本人が日本らしい謙虚な姿勢で、東南アジアに行って学ばせてもらい、刺激を受ける機会があれば良い。
- ・ 民主主義、開発等で ASEAN のニーズを把握し、ASEAN のアジェンダを支援していくべき。ASEAN は成長し、40 周年とは遙かに状況が異なる。ASEAN 諸国の成長を踏まえた関係性の追求が鍵。日本人のアジア観を問い直し、私たち自身が考え方を改めることが今後の交流の基礎。
- ・ 日本の中小企業は国内市場が主で、人材不足や語学の壁等に直面。東南アジアに目を向けることが重要であり、経済ミッションの派遣等、50 周年を盛り上げていきたい。
- ・ 東南アジアでは民主主義に逆行する動きが見られる。ASEAN とどのように価値観を共有するかが難しい課題。包括性が重要であり、ASEAN 共同体の 3 つの柱を含むバランスの良い対 ASEAN 政策、50 周年の成果文書を目指したい。
- ・ 1980 年から 40 年間、日本的経営を学んでもらう ASEAN 向け研修を実施。ASEAN 各国とビジネスを創業するプラットフォームを立ち上げ、成果を上げている。
- ・ ASEAN はグローバルサプライチェーンの中核。経済分野で重要なパートナーである ASEAN と新時代を拓いていきたい。
- ・ ASEAN の若いスタートアップの経営者は、ASEAN 地域全体の経済発展への熱意を持っている。ASEAN にとって相応しいパートナーであり続けるために何が必要か考えたい。

(了)